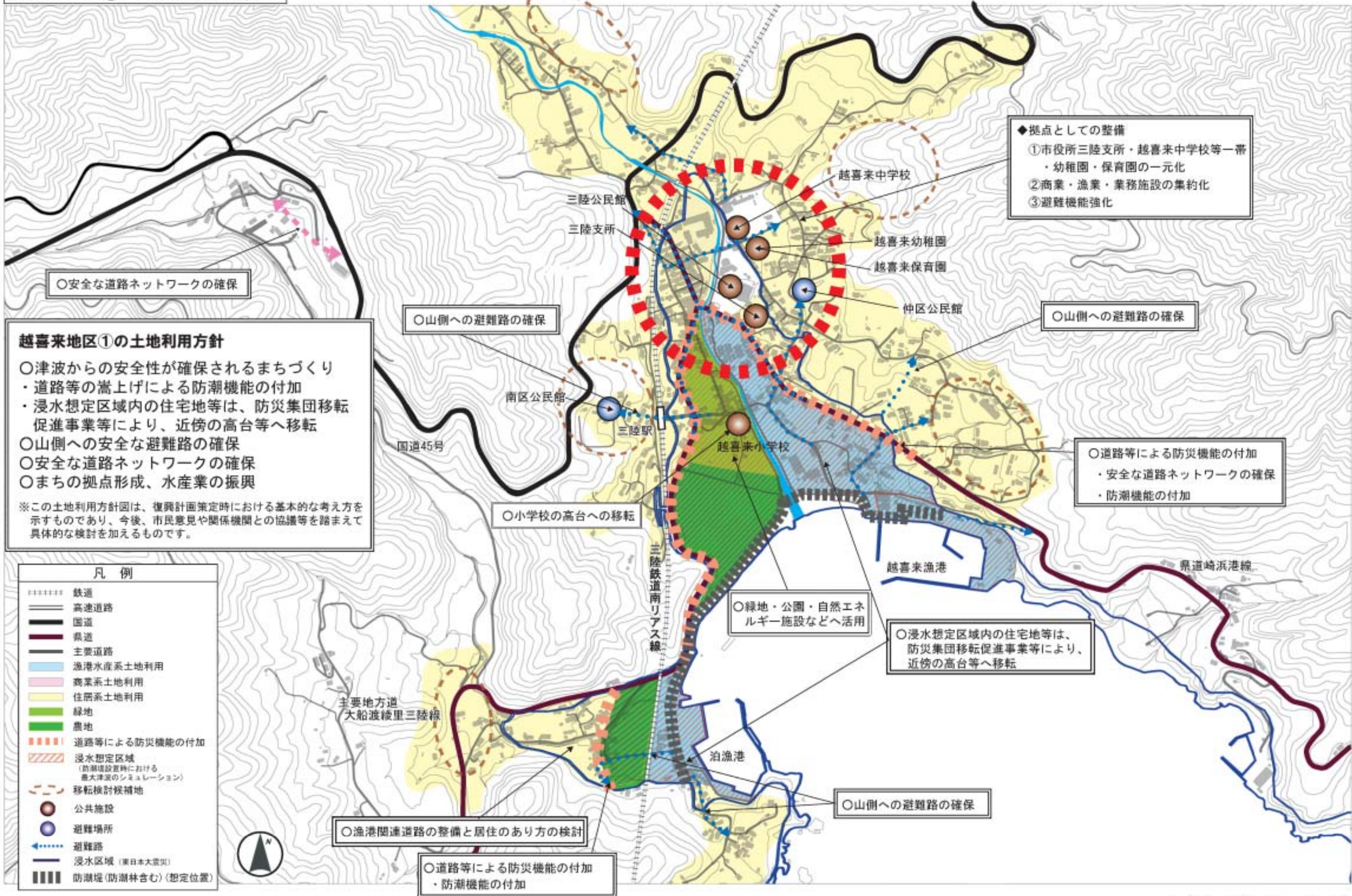


越喜来地区① 土地利用方針図



◆拠点としての整備
 ①市役所三陸支所・越喜来中学校等一帯
 ・幼稚園・保育園の一元化
 ②商業・漁業・業務施設の集約化
 ③避難機能強化

○安全な道路ネットワークの確保

越喜来地区①の土地利用方針
 ○津波からの安全性が確保されるまちづくり
 ・道路等の嵩上げによる防潮機能の付加
 ・浸水想定区域内の住宅地等は、防災集団移転促進事業等により、近傍の高台等へ移転
 ○山側への安全な避難路の確保
 ○安全な道路ネットワークの確保
 ○まちの拠点形成、水産業の振興
 ※この土地利用方針図は、復興計画策定時における基本的な考え方を示すものであり、今後、市民意見や関係機関との協議等を踏まえて具体的な検討を加えるものです。

○山側への避難路の確保

○山側への避難路の確保

○道路等による防災機能の付加
 ・安全な道路ネットワークの確保
 ・防潮機能の付加

○小学校の高台への移転

○緑地・公園・自然エネルギー施設などへ活用

○浸水想定区域内の住宅地等は、防災集団移転促進事業等により、近傍の高台等へ移転

凡例

-----	鉄道
====	高速道路
——	国道
——	県道
——	主要道路
——	漁港水産系土地利用
——	商業系土地利用
——	住居系土地利用
——	緑地
——	農地
——	道路等による防災機能の付加
——	浸水想定区域 (防潮堤設置時における 最大津波のシミュレーション)
——	移転検討候補地
●	公共施設
●	避難場所
→	避難路
——	浸水区域 (東日本大震災)
——	防潮堤(防潮林含む)(想定位置)

○漁港関連道路の整備と居住のあり方の検討

○道路等による防災機能の付加
 ・防潮機能の付加

○山側への避難路の確保